株主の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第100期中間期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）の事業報告をご高覧いただくにあたりましてご挨拶申し上げます。

当期は、コニカ株式会社とミノルタ株式会社が経営統合し、新しく純粋持株会社コニカミノルタホールディングス株式会社として挑む初年度となります。

本年1月に経営統合を発表した後、全社員一丸となり株主の皆様、お客様にご迷惑をおかけしないようスピードを重視して経営統合を推進し、8月に株式交換、10月には両社がそれぞれ営んでいた事業を再編、統合するなど最速で経営統合を行うことができました。

統合によって誕生した新しい企業グループは、「新しい価値の創造」を経営理念としております。両社ともに今年が創業130年および75年と、それぞれ歴史のある会社です。そこに蓄積された技術・人材・知識を融合させることにより、われわれを取り巻く事業環境の大きな変化にすばやく対応し、強靭で競争力のある企業を目指してまいります。そしてさらなる経営の効率化を進め、統合したすべての分野において事業構造改革、組織統廃合などを行い事業ポートフォリオ経営を推進させ、安定した発展を目指してまいります。

また当社は、本年4月より、「分社化・持株会社制」へと移行し、6月には持株会社となった当社はコーポレートガバナンス体制を一層強化するために「委員会等設置会社」へ移行いたしました。この2つの制度を同時に採用している企業は日本の中ではまだ少数ですが、私はグループの企業価値を高めるために最も適した企業形態であると考えます。分社した個々の事業会社は、その事業特性に適合した組織や仕組みで迅速に市場対応を行い競争力の強化を図ります。また持株会社である当社は、グループの経営資源を成長分野の事業へ最適配分すると同時に、提携や事業の再編などを推進してより強固な収益基盤を擁する企業グループを目指し、企業価値を高めることで株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと存じます。そして、委員会等設置会社に移行したことで経営の執行と監督を明確に分けるとともに、社外取締役4名を招聘して透明性と公正性を一層高めた経営を行ってまいります。経営の監督は取締役会に委ね、私は代表執行役として経営の執行に専念し、意思決定のスピードを上げてコニカミノルタのグループ企業価値向上を目指した経営を行う所存です。

株主の皆様におかれましてはなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成15年12月

コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長
岩居　文雄